

【オリコンサルグローバルらが参画 ジャカルタで自動運転モビリティ実証】

## ジャカルタで自動 運転モビリティ実証

### オリコンサルグロ ーバルらが参画

オリエンタルコンサルタンツグローバルが外部人材として従事する「インドネシア国BSDスマートシティの実現に向けた自動運転モビリティサービス普及・実証・ビジネス化事業」の一環として、自動運転モビリティの普及実証がジャカルタ首都圏郊外のBSDシティーで始まった。

この事業は、三菱商事とマクニカが事業提案したもの

で、JICA（国際協力機構）の民間連携事業（SDGsビジネス化支援型普及・実証・ビジネス化事業）の一環として実施される。ジャカルタ郊外のバンテン州タンゲラン県に位置する大規模な都市開発地区BSDシティーで、圏内の交通移動手段として自動運転モビリティサービスのビジネスモデルを実証する。



今回の普及実証は、フェーズ1を8月までシヨッピングモール（QBIG Mall）で、フェーズ2は8月から2023年1月までビジネスパーク（Green Office Park）で実施する予定だ。オリコンサルグローバルは、現地パートナーと緊密に連携しながら、ビジネスモデルの検討と実証のためのモニター調査に従事し、新しいモビリティサービスの導入により交通弱者を含めたすべての人々の移動機会の創出に貢献していく。

普及実証の開始を記念し、5月20日に現地で開かれたセレモニーには、ブディ・カラアス・マディ運輸大臣、ノヴィエ・リヤント・ラハルジョ陸上交通局長、バンバン・サントノヌサンタラ首都庁総裁ら同国要人が参列した。写真。